

## 学習指導案 テーマ②

【題名】みんなのデジタル教室 02 「フェイクニュースの見分け方」			
【学年】中学校～高等学校	【科目】総合・道徳・情報	【単元名】一	【コマ数】1 (50分)
内容	ネット上にある「情報」の真偽を見極めるためのコツと対策		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上に「信用できるかあやしい情報」ある理由を理解する</li> <li>・同じ情報でも、見る人によって見え方が変わることがあることを理解する</li> <li>・正しい情報かどうかを見分ける方法を考え、日常の生活の中で適切に、前向きにネットを活用する</li> </ul>		
準備	PC・プロジェクター＆スクリーン・スピーカー・ワークシート・筆記用具・学習プリント (+Web環境) ※企業教育研究会が、オンライン授業もしくは出張授業で講師を行うことを想定)		
活動	教師の働きかけ		
○導入 10分	<p><b>【解説】フェイクニュースがあふれているのはなぜか?</b>            2020年のインターネットの1分間の情報量を見ながら情報の多さを伝える            2つの記事から真実のニュースとフェイクニュースを当ててもらう</p> <p><b>【解説】10代の若者とフェイクニュースの拡散</b>            実態調査から10代は「一番フェイクニュースを見分ける自信がある」と伝える            総務省の資料から、同じものを見ても見え方が違うことがある例を紹介する            ⇒それは「認知バイアス」が影響していると解説する            実態調査から10代は「一番フェイクニュースを拡散した経験がある」と伝える</p>		
○展開 35分	<p><b>【Activity01】拡散されやすい情報にはどんな特徴がありますか？</b>            拡散されやすい情報の特徴について書き出して、話し合ってもらう。            「人に言いたくなる」「願望・希望」「意外性」「正義感に訴える」「未知」という「ニセ・御情報」の持つ5つの要素を実例からスライドで解説する。</p> <p><b>【Activity02】フェイクニュースがみなさんや世の中はどう影響する？</b>            フェイクニュースが生活や社会に与える影響を書き出して、話し合ってもらう。            「社会や経済が混乱する」「消費活動に影響する」「損害賠償責任を負う」「世の中があらぬ方向に進む」の4つの可能性をスライドで解説する。</p> <p><b>【Activity03】フェイクニュースを検証してみよう</b>            フェイクニュースの実例を模した画面を見てもらいながら、そのニュースが「フェイクニュースだ」と考えられる理由を探してもらう。            その後「検証の手順」の5つのステップを紹介しながら、解説を行う。            ステップ1 原本性 ステップ2 ソース（出典） ステップ3 日付            ステップ4 位置情報 ステップ5 目的</p> <p><b>【解説】「記事」と「広告」の見分け方</b>            記事のように見える広告を見分けられるかどうか、ポイントを紹介する            例として、FacebookやInstagramでは広告とオーガニック投稿を見分けられるように表示がなされていることを紹介する。</p>		
○まとめ 10分	<p><b>【解説】フェイクニュースに対するMetaの取り組み</b>            Facebookでフェイクニュースを報告する方法について、画面を見せて紹介する。            Instagramにも同じように報告する機能があることを紹介する            フェイクニュースであることが視覚的にわかるラベルがあることを紹介する</p> <p><b>【ビデオメッセージ】「インフルエンサー」から、中高生に向けて</b>            インスタANZENカイギのメンバーから「前向きにネットを使うため」のメッセージ            ・フェイクニュースを発信しないために気を付けていることは?            ・フェイクニュースをシェアしないために気を付けていることは?</p> <p><b>【感想】「今日から自分にできること」を、ワークシートに書き出そう</b>            ・これからの自分にできることを、ワークシートに書いて、共有する。</p>		